

シリーズ
変圧器で省エネ!

省エネで選ぶなら!



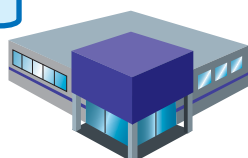
変圧器は、日立のアモルファス!

第26回

改正省エネ法
編

これまで一定規模以上の大規模な工場に対しエネルギー管理を義務付けていたものが、改正により事業者単位の規制となり、一定の要件を満たすフランチャイズチェーンなどは規制の対象となってきます。今回は改正のポイントをご紹介します。

増える対象の事業者とは?



小売チェーン(全体)



コンビニチェーン



テナント入居

- ※1,500kl/年(原油換算)の目安
- ・光熱費 1億円/年以上
 - ・小売/オフィス事務所 3万㎡以上(2,000MJ/㎡・年=200.6kwh/㎡のとき)
 - ・コンビニエンスストア(40kl/年) 30~40店舗以上

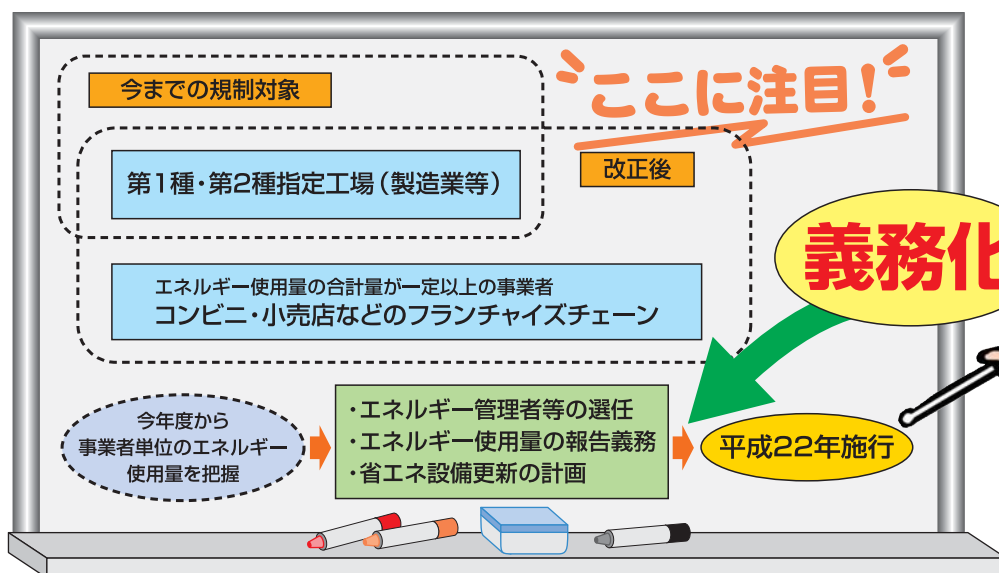


同一企業合計で※1,500kl/年(原油換算)エネルギーを消費している事業者は特定事業者となり対象になります。

これを満たすオフィス、コンビニ、フランチャイズチェーンストアなどについても対象の特定事業者となります。

…営業所、支店等のテナント/自社拠点も含まれます。

新たに対象となる事業者への規制は平成22年度からの施行となります。これらの事業者は、さまざまな義務が生じ、省エネへの取り組みが必要不可欠となります。



●お問い合わせ先

株式会社 日立産機システム 受配電・環境システム事業部 企画部 板谷越 勝久
E-mail ●sanki-haiden@hitachi-ies.co.jp

こういった店舗等の受電設備として、一般的にキュービクルが用いられますが、このキュービクルの中では変圧器が24時間稼働しています。
そこで省エネ効果の高い変圧器を選ぶことが省エネ対策に大変効果的です。

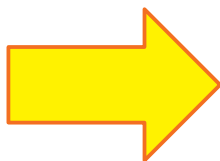


代表的な小規模キュービクルの場合

30年前のキュービクル

アモルファス変圧器搭載キュービクル

単相50kVA
三相150kVA



単相50kVA
三相150kVA

*1975年製造のキュービクルをアモルファス変圧器搭載のキュービクルに更新した場合

年間電気量

約10万円

年間CO₂排出量

約5トン

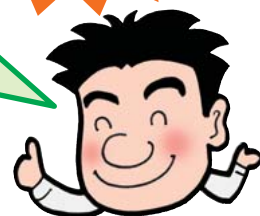
削減!!

*変圧器の負荷率40%、電気料金1kWhあたり12.08円 にて試算。



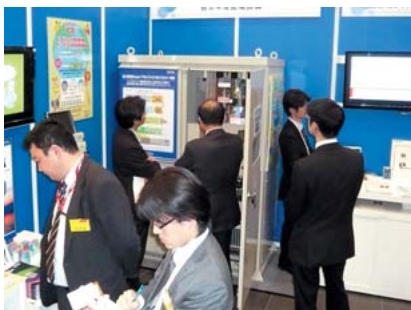
省エネって照明、空調だけでなく、おおもとの電気設備からできるんですね。

従来の変圧器に比べてアモルファス変圧器は省エネ効果が非常に高いのです。



日立ビジネスソリューションフォーラムに出展しました。

1月20日～21日の2日間、秋葉原UDXにおいて、日立コンシューママーケティング(株)主催の展示会「ビジネスソリューションフォーラム」が開催されました。省エネ効果の高いアモルファス変圧器をキュービクルに納めた形で展示し、今回の省エネ法に伴い対象となる事業者の方を中心に、受配電設備に関する省エネに大変興味を持っていただきました。



日立産機システム変圧器ホームページ

<http://www.hitachi-ies.co.jp/products/trans/index.htm>